

むしくいたしざん（ともだちの こたえ） ①

1ねんせい／ともだちの こたえ、あってる？ 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

ともだちが □に こたえを かきました。

ふくろには、ともだちの こたえの かずだけ はいいろの ●が はいっています。

●を かぞえて、あっていたら ○、ちがっていたら ×をつけましょう。

●の かずが =の みぎの かずと おなじなら、あっています。

×の ときは、ただしい かずを かきましょう。

あっている ときは、ただしい かずは かかなくて よいです。

れい 
 $5 + \boxed{4} = 8$

○か × ただしい かず
× 3

(1) 
 $3 + \boxed{2} = 4$

○か × ただしい かず

(2) 
 $2 + \boxed{8} = 10$

○か × ただしい かず

(3) 
 $4 + \boxed{1} = 6$

○か × ただしい かず

(4) 
 $3 + \boxed{1} = 5$

○か × ただしい かず

(5) 
 $2 + \boxed{7} = 9$

○か × ただしい かず

(6) 
 $7 + \boxed{2} = 8$

○か × ただしい かず

おうちの方へ（すすめかた）

はじめに れいを いっしょに 読みます。ふくろの はいいろの ●が ともだちの こたえの かずです。

●を ゆびで さして ぜんぶ かぞえ、=の みぎと くらべてから ○か ×を 書かせて ください。



むしくい たしざん（ともだちの こたえ） ②

1ねんせい／どんな まちがい？ 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

ともだちの こたえは ぜんぶ まちがいです。

ふくろの なかは みえません。

ふくろの なかの ただしい かずが、□に はいる かずです。

どんな まちがい、ア・イ・ウから えらんで ○をつけ、ただしい かずを かきましょう。

ア みえてる ●の かずを かいた

イ ぜんぶの かず（＝の みぎ）を かいた

ウ 1つ おおい 1つ すくない（かぞえまちがい）

れい ●●●●● **ふくろ**
 $5 + \boxed{7} = 7$

ただしい かず
 ア ☒ イ ☐ ウ

(1) ●●●●●●● **ふくろ**
 $7 + \boxed{4} = 10$

ただしい かず
 ア ☐ イ ☐ ウ

(2) ●● **ふくろ**
 $2 + \boxed{2} = 7$

ただしい かず
 ア ☐ イ ☐ ウ

(3) ● **ふくろ**
 $1 + \boxed{1} = 4$

ただしい かず
 ア ☐ イ ☐ ウ

(4) ●●●● **ふくろ**
 $4 + \boxed{9} = 9$

ただしい かず
 ア ☐ イ ☐ ウ

(5) ●●●●●● **ふくろ**
 $6 + \boxed{1} = 8$

ただしい かず
 ア ☐ イ ☐ ウ

(6) ●●●● **ふくろ**
 $4 + \boxed{5} = 5$

ただしい かず
 ア ☐ イ ☐ ウ

おうちの方へ（すすめかた）

まず ただしい かずを 考え、つぎに ともだちが どの かずを 書いて しまったかを ア・イ・ウから えらびます。
 上の わくの ア・イ・ウを いっしょに 読んでから はじめます。



むしくい たしざん（ともだちの こたえ） ③

1ねんせい／ずが ない ときの たしかめ 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

ずは ありません。

みえてる かずは +の ひだりの かず、ぜんぶは =の みぎの かずです。

「みえてる かず + ともだちの こたえ」を けいさんして、

ぜんぶと あって いたら ○を つけましょう。

あって いなければ ×を つけましょう。

けいさんした かずは「けいさん」の □に かきます。

れい	3	+	5	=	8	けいさん	3 + 5 =	8	○か ×	☐
	みえてる		ともだち		ぜんぶ					
(1)	1	+	6	=	7	けいさん	1 + 6 =		○か ×	☐
	みえてる		ともだち		ぜんぶ					
(2)	5	+	3	=	6	けいさん	5 + 3 =		○か ×	☐
	みえてる		ともだち		ぜんぶ					
(3)	4	+	3	=	8	けいさん	4 + 3 =		○か ×	☐
	みえてる		ともだち		ぜんぶ					
(4)	6	+	4	=	10	けいさん	6 + 4 =		○か ×	☐
	みえてる		ともだち		ぜんぶ					
(5)	5	+	2	=	9	けいさん	5 + 2 =		○か ×	☐
	みえてる		ともだち		ぜんぶ					
(6)	2	+	3	=	5	けいさん	2 + 3 =		○か ×	☐
	みえてる		ともだち		ぜんぶ					

おうちの方へ（すすめかた）

ずは ありません。見えている かずと ともだちの こたえを たして「けいさん」の □に 書きます。

書いた かずと =の みぎを くらべて、○か ×を 決めます。



むしくい たしざん（ともだちの こたえ） ④

1ねんせい／ふたりの こたえ、どっち？ 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

ふたりの ともだちが ちがう こたえを かきました。

ふたりは うさぎと くまです。

ただしいのは どちらか、□に いれて たしかめて えらびましょう。

ふたりとも まちがいの ときも あります。

ただしい ほうか「どちらも ちがう」に ○を つけます。

「どちらも ちがう」の ときだけ、ただしい かずを かきましょう。

れい	$6 + \boxed{3} = 9$	うさぎの こたえ $\boxed{4}$	くまの こたえ $\boxed{2}$	ただしい かず
みえてる	ぜんぶ	うさぎ	くま	どちらも ちがう
				3
(1)	$1 + \boxed{} = 9$	うさぎの こたえ $\boxed{6}$	くまの こたえ $\boxed{8}$	ただしい かず
みえてる	ぜんぶ	うさぎ	くま	どちらも ちがう
(2)	$2 + \boxed{} = 6$	うさぎの こたえ $\boxed{3}$	くまの こたえ $\boxed{5}$	ただしい かず
みえてる	ぜんぶ	うさぎ	くま	どちらも ちがう
(3)	$3 + \boxed{} = 10$	うさぎの こたえ $\boxed{7}$	くまの こたえ $\boxed{6}$	ただしい かず
みえてる	ぜんぶ	うさぎ	くま	どちらも ちがう
(4)	$2 + \boxed{} = 4$	うさぎの こたえ $\boxed{2}$	くまの こたえ $\boxed{3}$	ただしい かず
みえてる	ぜんぶ	うさぎ	くま	どちらも ちがう
(5)	$6 + \boxed{} = 7$	うさぎの こたえ $\boxed{3}$	くまの こたえ $\boxed{2}$	ただしい かず
みえてる	ぜんぶ	うさぎ	くま	どちらも ちがう
(6)	$1 + \boxed{} = 8$	うさぎの こたえ $\boxed{6}$	くまの こたえ $\boxed{7}$	ただしい かず
みえてる	ぜんぶ	うさぎ	くま	どちらも ちがう

おうちの方へ（すすめかた）

うさぎの こたえと くまの こたえを、1つずつ 式に 入れて たしかめます。

かたほうが ちがっても、もう かたほうも たしかめてから えらぶように 声を かけて ください。



むしくいたしざん（ともだちの こたえ） ⑤

1ねんせい／じぶんの こたえを たしかめよう 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

□に こたえを かいたら、したに「みえてる + こたえ = ぜんぶ」の しきを かいて、あっているか たしかめましょう。

みえてる かずは、=の ひだりに かいて ある かずです。

ぜんぶは「みえてる + こたえ」を けいさんして かき、

=の みぎの かずと おなじか くらべましょう。

れい

$$\boxed{6} + 2 = 8$$

たしかめ

$$\boxed{2} + \boxed{6} = \boxed{8}$$

みえてる

こたえ

ぜんぶ

(1)

$$\boxed{} + 4 = 10$$

たしかめ

$$\boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

みえてる

こたえ

ぜんぶ

(2)

$$3 + \boxed{} = 7$$

たしかめ

$$\boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

みえてる

こたえ

ぜんぶ

(3)

$$7 + \boxed{} = 9$$

たしかめ

$$\boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

みえてる

こたえ

ぜんぶ

(4)

$$\boxed{} + 1 = 6$$

たしかめ

$$\boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

みえてる

こたえ

ぜんぶ

(5)

$$1 + \boxed{} = 5$$

たしかめ

$$\boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

みえてる

こたえ

ぜんぶ

(6)

$$\boxed{} + 2 = 3$$

たしかめ

$$\boxed{} + \boxed{} = \boxed{}$$

みえてる

こたえ

ぜんぶ

おうちの方へ（すすめかた）

□に こたえを 書いたら、下の「たしかめ」に見えている かず・こたえ・ぜんぶの じゅんで 書きます。

□が ひだりに ある もんだいでも、見えている かずから 書くと わかりやすいです。

